



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！ 「おもしろまちうちライブラリー」新規貸出図書のお知らせ

「おもしろまちうちライブラリー」では県内市町村職員の皆さん、まちづくり市民団体の皆さんをはじめ、まちづくりに興味・関心のある県民の方々へ、本と動画資料(DVD等)の貸し出しをしています。本年度の新規貸出図書は右記のとおりです。

ぜひ「おもしろまちうちライブラリー」を、まちづくりの参考としてご利用ください。

また、まちづくりに関する本の購入リクエストも受け付けています。限られた予算内での事なのですべてにお応えすることはできませんが、お気軽にご連絡ください。

書籍名	著者等
ウォーカブルシティ入門	ジェフ・スベック
公共空間の景観力	藤本 英子
ストリートファイト：人間の街路を取り戻したニューヨーク市交通局長の闘い	ジャネット・サディク＝カーン、セス・ソロモノウ
公民連携まちづくり 事例&解説	日経アーキテクチャ
デンマークのスマートシティ	中島 健祐
LANDSCAPE DESIGN No.152	マルモ出版

●詳細やライブラリー蔵書一覧などは、

おもしろまちうちライブラリー



マーチィの掲示板

国土交通大学校に入校した件

群馬県 都市計画課 都市計画係 清水 隆宏

令和5年9月25日(月)から10月6日(金)に東京都小平市の国土交通大学校で開催された「土地利用計画研修」に参加しました。土地利用計画制度に関する基本知識や最新の専門知識の修得を図ることを目的とするもので、都市計画経験2年以下の研修生がほとんどでした。

班別討議では、具体的な地区を対象に人口動態、ハザード情報等の基礎データを収集し、実際の現地調査により地域課題を抽出し、研修員同士で意見交換・討議を進めながら、課題解決に向けて土地利用計画制度(地区計画)を活用した今後のまちづくり方針とその実現手法を検討し、発表を行いました。私の班は研修生全体から見ると非常に若く、私が平均年齢を上げている状況でしたが、みなさん知識が豊富で、国・県・市と様々な立場からの意見を聞くことができ、とても貴重な経験となりました。

また、本研修は新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、4年ぶりに全カリキュラムが集合研修となったため、講義後には班員だけでなく全国の研修生と多くの交流を図ることができました。研修後には、交流した研修生と連絡を取り合い、業務で悩んでいることについて情報交換する機会もあり、早速業務で活用することができました。今後もこの繋がりを大切にしていきたいと思えます。



都市計画全国大会に行ってきました

群馬県 都市計画課 都市計画係 住谷 芳英

令和5年11月16日(木)から17日(金)に福島県で開催された「第75回都市計画全国大会」に参加しました。大会の大きなテーマの一つは「東日本大震災・原発事故からの復興まちづくり」でした。大会の中で、印象に残った双葉町の復興まちづくりについてお伝えします。

双葉町は、福島第一原子力発電所が立地する町です。震災当時の人口は約7千人でしたが、令和4年8月に拠点区域の避難指示が解除されたものの、令和5年9月現在の居住者は約90人で、帰還意向がある町民は約14%ということでした。帰還する町民が少ない中、現地は空き地や空き家ばかりとなっており、今後、土地利用をどうしていくのだろうか、というのが率直な感想でした。双葉町は、まずは、帰還者や移住者の「住む拠点」と「働く拠点」を重点的に整備することとし、全面買収により新市街地を整備できる「一団地事業」を都市計画決定し事業を進めており、その効果を周辺に波及させていく考えです。

大会を通じ、原子力災害は通常の災害と異なり、広域かつ長期の避難を余儀なくされる点や、汚染がある点で特殊であることから、「空間の復興」だけでなく「人の復興」に向けて、課題は山積みであると感じました。今後、双葉町をはじめ、福島復興まちづくりに関心を持ち続けていきたいと思えます。



福島大学 川崎興太教授による記念講演

